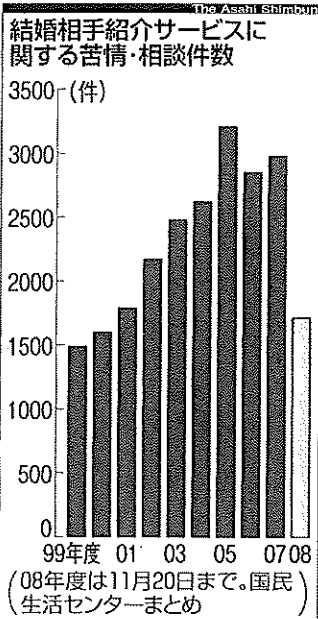


# 婚活業界 適印で火花

## CMS

Certificated Matchmaking Service  
authorized by JLCA

結婚相手紹介サービス基準マーク



## NPO先行、最大手は別マーク

「結婚活動(婚活)」の広がり、約60万人の利用者がいるとされる結婚相手紹介サービス。その優良事業所に「CMS」というマル適マークII写真IIを与える事業が始まった。顧客から年間約3千件の苦情・相談が寄せられる業界だけに、業者選びの一つの目安になりそうだが、業界内部では別のマークの準備も進んでいて混乱がみられる。

(茂木克信)

CMSマークを発行するのは、結婚などに関するアドバイザーの資格制度を担おうと07年1月に学識経験者らが設立したNPO法人「日本ライフデザインカウンセラー協会(JLCA)」(原口博光理事長)。08年12月に初の審査を終え、大手のツヴァイやサンマリ工などの36都道府県176事業所(全事業所の約4%)にマークを与えた。3年間有効で、店頭や広告で使える。

審査は産官学でつくる「サービス産業生産性協議会」(牛尾治朗代表幹事)が08年7月にとりまとめたガイドラインに基づき、ポイントで使える。

マークを取った東京・銀座の結婚相談所「銀座アヴニール」(会員約350人)の北川ゆり香代表は「玉石混交の業界なので、ブランド力を高められるし、消費者の

ためにもなる」。

国民生活センターによると、07年度は業界への苦情・相談が2974件寄せられた。04年に特定商取引法の規制対象になってからも大きく減っておらず、大部分が「勧誘が強引」「高額な中途解約金を取られた」といった契約・解約関係という。

だが、こうしたJLCAの取り組みに対し、業界最大手のオネットなど12社・団体は「審査料金が低い」「審査過程が不透明」などと反発。昨年12月の会合で、この2月に別団体をつくり、今年末から別のマル適マークを出すことを決めた。ある業界関係者は「大手同士のメンツの張り合いや、顧客の獲得競争が背景にある」とみる。

経済産業省サービス産業課は「業界内の自主的な取り組みなので意見は言えないが、将来的には消費者から見えてわかりやすい形に収まることを望ましい」と渋い顔だ。

厚生労働省によると、07年の平均初婚年齢は夫30・1歳、妻28・3歳で、1970年と比べ4歳前後遅くなっている。職場や地域に男女の縁をとりもつ人が減ったことが一因とされ、「婚活」も普及。経産省の推計では、結婚相手紹介サービスの市場規模は500億〜600億円で、会員は約60万人(男性が約6割)という

## 地名に「字」最古の木簡

岩手 中央貴族との関係示す

水田の無断耕作を禁じる立て札に使ったとみられる10世紀の木簡が、岩手県奥州市前沢区の道上遺跡から出土した、と岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが20日発表した。地名に付く「字」が書かれたものとしては国内最古の木簡で、古代に西日本と同様の土地支配が東北地方でも行われていたことが分かったという。兵庫県の袴狭遺跡に次ぐ全国2遺跡3例目の「禁制木簡」でもある。

木簡は珍しい棒状で、長さ約46センチ、直径約4センチ。07年8月に発掘され、解説・保存作業が行われてきた。滑らかに削られた表面に、漢文体で40

字以上の文字が6行書かれている。10世紀のものであることが分かった。同センターの発表では、本文は「禁制田参段之事」(三段約30坪の水田に関する禁止事項)で始まり、その後に「字垂楊池」と水田の所在地名が続いている。

腐食で後半は読み取れない文字が多いが、解説の結果、文面は「農民の公子廣守丸が京都の貴族に寄進した字垂楊池の水田を無断で耕作することを禁止する」という意味だと推定された。同センターは「東北地方の農民が当時、水田を介して中央の貴族と関係があったことを示す貴重な資料」としている。

## 暴力団幹部 撃たれ重傷

福岡のすし店

20日午後7時半ごろ、福岡県柳川市三橋町下百町のすし店から、「客が撃たれた」と119番通報があった。県警

と、古賀幹部は昨年12月に同県柳川市議長が開いた忘年会に出席していたという。

## キャセイ食品 社長らを逮捕

野菜産地偽装容疑